

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

慈光照護のもと、門信徒のみなさまにはますますご清栄のことと慶賀に存じます。

さて、去る10月16日と17日に当山の報恩講を無事に終えることができました。ご参拝いただいたご門徒の皆様、共にお念仏を喜ばせていただいて有り難く存じます。奥田先生のご法話もいただき、お浄土という世界が迷いの世、五濁悪世に生きている私たちに、いかに必要な世界であるかをわかりやすく教えていただきました。

現代はいじめが大きな社会問題になり、それによってあまりにも多くの子供たちが自ら死を選んでいきます。子供たちばかりではありません。日本では昨年1年間になんと3万2千人以上の方が自死されておられます。多くの方が救いを求めているのです。浄土真宗のみ教えは亡くなった方のためではありません。今を生きている私たちのためにあるのです。「お寺にはおばあちゃんがお参りしているからいいや」ではないのです。今月には御正忌が厳修されます。夜のお座には毎年恒例の『ぜんざい』が振る舞わ

れます。また、親鸞聖人のご生涯の行蹟を第三代宗主覚如上人がまとめられた『御伝鈔』下巻も拝読されます。このご法縁を大切にしてください。みなさまお誘い合わせの上ぜひお参りくださいますようお願い申し上げます。

なお、来年1月9日〜16日には京都の西本願寺にて御正忌報恩講がおつとまりになります。末寺での御正忌が年内に行われるのも、1月には本山に参つてくれよとの意味があるのです。皆様にもぜひお勧めします。

左の写真は当山報恩講のものです。下の写真は同時開催しました梶洋品店の梶照子様の人形展の模様です。お陰さまでたくさんの方から「かわいい」「素敵だ」と喜んでいただきました。ありがとうございました。



奥田先生の御法話をお聴聞される参拝者の皆様



■梶照子様作品展より■  
いつもの本堂とは違って、とても華やかになりました。

あまり綺麗だったので今回は奮発してカラー印刷です！



## 「御正忌のご案内」

日	14時〜	19時〜
18日	大速夜 正信偈 法話二席	初夜 十二礼 御伝鈔拜読 法話一席
(月)		

福井市教心寺住職

ご法話 本願寺布教使

奥田 順誓師です。

## 「除夜会のご案内」

毎年恒例になつていゝるのにあまり(全然)知られていない除夜会のご案内です。12月31日午後11時半ごろから、当寺において『除夜の鐘』をつきます。梵鐘は希望される皆様には全員ついでいただけます。新年が明けましてから本堂にて勤行があります。あたたかい飲み物等も振る舞われます。ぜひお参りください。

## 「宗祖750回大遠忌法要懇志」

宗祖親鸞聖人750回大遠忌法要を平成23年にお迎えする50年に一度のご勝縁に、本願寺より全国の僧侶、門信徒の皆様には法要懇志のご依頼がありました。当西光寺に対しても、総額120万円の依頼があり、本年4月より門信徒の皆様をお願いを致しております。お陰様にて現在(平成18年12月4日)までに

多数のご進納がありましたので、ご芳名のみ報告させていただきます。なお、12月5日以後のご進納のご芳名は、順次ご報告させていただきます。過分の浄財ありがとうございます。まだまだ未納の門信徒の方々の、できる限りのご協力をお願いいたします。

宗祖750回大遠忌法要懇志進納ご芳名一覧 50音順

神明	神明
北本町	春江
北本町	安島
山王	神戸
福井	愛知
東京	北本町
北本町	福井
陣ヶ岡	陣ヶ岡
陣ヶ岡	崎
宿	千葉
滝谷	米ヶ脇
北本町	公園
山王	安島
安島	寝屋川
神明	

## 「誰にも聞けないお仏壇の話」

### 第2回「お供花はなぜこちら向き？」

お仏壇にお供えするお花は、仏さまに向けてお供えするのがほんとうではありませんか?……確かにそうですね、誰かにお花をあげるときでも相手の方に咲いているほうを

向けておくのが普通です。ではお仏壇でもお花は阿弥陀様に向けてお供えするのでしょうか。そんなことはありませんね。お花をこちら向きにお供えするのは、仏さまから私たちへのおはたらきを表しているのです。『仏説阿弥陀経』には「池中蓮華 大如車輪 青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白色白光 微妙香潔」と表されておりますように、阿弥陀様のお浄土の池には清らかな蓮の花が大きな車輪のように咲き誇つてかぐわしい香りを放っています。

ところがこの私はどうでしょう。濁りきつた世界に生きる煩惱だらけの身であると気づかされます。阿弥陀様はその私を、必ず浄土に生まれさせてくれよと願つてくださっています。そのお心を表し、花はこちらに向けてお飾りするのです。

## 「編集後記」

第1号を発行してから、ご門徒様より声をかけていただくことが多くなりました。「お水をお供えしなくてもいいと初めて知った」と言われる方もおられましたし、励ましのお言葉をいただくことも多く、皆様が読んでくださっていることが今後も続けていく励みになります。引き続きご意見ご感想をお待ちしております。原稿も募集しています。

合掌